

口腔外科(再建系)の研修プログラム

1)日本口腔外科学会

- | | |
|-----|---|
| 指導医 | <ol style="list-style-type: none">1) 歯科医師または医師免許登録後、12年以上継続して本学会会員であること2) 歯科医師または医師の臨床研修修了後、研修施設または関連研修施設において、通算12年以上、口腔外科に関する診療に従事していること3) 本学会専門医取得後3年以上、口腔外科に関する診療に従事していること4) 別に定める診療実績および論文業績を有すること(指定難度手術60例、直前10年間に指定学術雑誌に10編)5) 書類審査、面接および手術実地審査に合格すること |
| 専門医 | <ol style="list-style-type: none">1) 歯科医師または医師免許登録後、6年以上継続して本学会会員であること2) 本学会専修医資格取得者であること3) 研修施設または関連研修施設において、通算6年以上、口腔外科に関する診療に従事していること4) 別に定める研修実績、診療実績および論文業績を有すること
(救命救急研修、全身管理研修、規定手術100例、入院管理50例、規定症例10例、指定学術雑誌に3編)5) 書類審査、口頭試験、筆記試験、手術実地診査に合格すること |
| 専修医 | <ol style="list-style-type: none">1) 歯科医師または医師免許登録後、2年以上継続して本学会会員であること2) 研修施設または関連研修施設において、通算2年以上、口腔外科に関する診療に従事していること3) 別に定める研修実績、診療実績および論文業績を有すること(救命救急研修、診断10例、周術期管理10例、規定手術30例など)4) 書類審査、口頭試験、筆記試験に合格すること |

2)日本顎顔面インプラント学会専門医(平成26年より施行予定)

- 1) 日本顎顔面インプラント学会および日本口腔外科学会入会から研修開始
- 2) 歯科医師臨床研修修了登録証取得後、5年間以上の研修(日本顎顔面インプラント学会会員として5年間以上)
- 3) インプラントおよび関連症例数(30例)、全身管理研修(5例)、学会参加・発表(2回)、論文執筆(2編)、研修会参加、BLS/ACLSまたはICLS受講修了の規定あり
- 4) 日本口腔外科学会専修医(3年目以上に取得可)または専門医(7年目以上に取得可)取得
- 5) 指導施設のインプラント外来指導医による申請許可
- 6) 資格認定後、認定医試験に合格すること

3)がん治療認定医

- 1) 日本口腔外科学会入会から研修開始
- 2) 暫定教育医または認定医による研修カリキュラムに基づいた2年間以上のがん治療研修証明
- 3) 経験症例数(20例)、論文執筆(1編)、学会発表(2回)、教育セミナー等学術単位(20単位以上)
- 4) 資格認定後、認定医試験に合格すること

4)一般社団法人日本顎関節学会専門医

- 1) 日本顎関節学会入会から研修開始
- 2) 5年間以上の研修(日本顎関節学会会員として5年間以上)
- 3) 診療実績数(顎関節症に関連する症例100例以上、診査・診断では画像診断があれば13例以上、画像診断がなければ25例以上、さらに診断・治療では、顎関節症に関する画像診断を行っている場合は、17例以上、画像診断がない場合は50例以上などの規定あり)
- 4) 学会参加等実績(本学会参加2回以上、演者あるいは共同演者として発表4回以上、本学会主催講演会聴講4回以上などの規定あり)
- 5) 論文業績(顎関節症に関連する論文が共著者も含め3編以上でかつ筆頭著者として本学会雑誌掲載論文1編を含むことなどの規定あり)
- 6) 研修機関指導医2名による申請許可
- 7) 申請書類審査、および専門医試験(筆記試験および口頭試問)にて、合否の判定

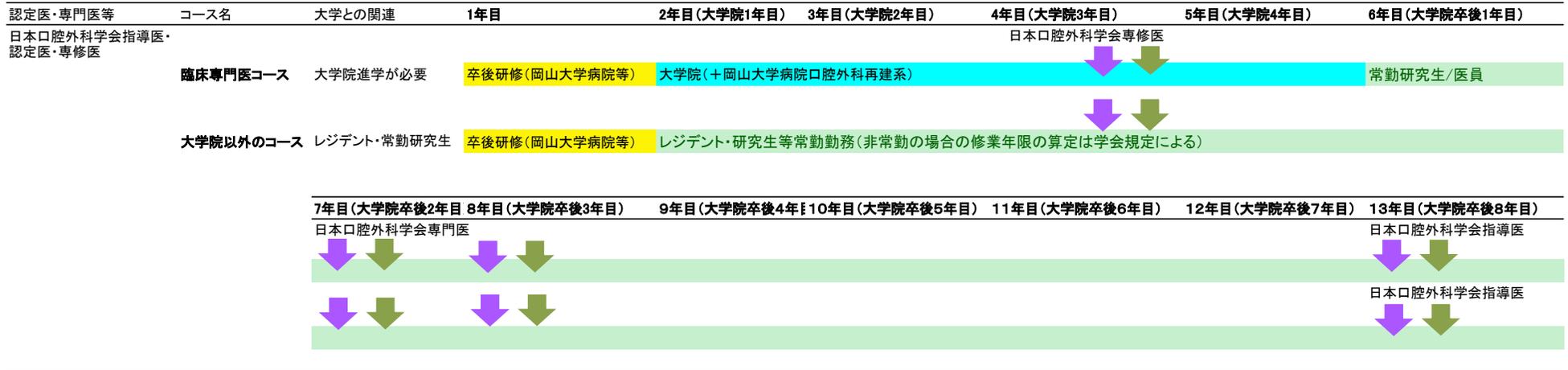
5) 口腔顔面神経機能学会 口唇・舌感覚異常判定認定医

- 1) 認定医申請時に3年以上、学会会員であること
- 2) 学会認定施設に通算して3年以上在籍していること
- 3) 学術大会において口腔顔面神経機能に関する発表をしていること
- 4) 認定試験は、書類審査および論述試験により行われる

6) インфекションコントロールドクター(ICD)

- 1) 歯科医師資格取得から5年以上
- 2) 病院感染対策に係わる活動実績があること(ICD制度協議会の主催する講習会または厚生労働省の委託による院内感染対策講習会への参加実績が3回以上)
- 3) 所属施設長(病院長)の推薦があること
- 4) ICD制度協議会に加盟している何れかの学会の会員であること(歯科領域では、日本歯科薬物療法学会などで、会員歴の長さは問われない)
- 5) 所属学会からの推薦があること
- 6) 以上の項目全てが満たされているとICD協議会からインフェクションコントロールドクターと認定される。

2. 認定医・専門医等取得のための基本的なプログラム(ロードマップ)



認定医・専門医等	コース名	大学との関連	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
インフェクションコントロール ドクター	臨床専門医コース	大学院進学が必要	岡山大学病院卒後研修	大学院(+岡山大学病院口腔外科再建系)			
	大学院以外のコース	レジデント・常勤研究生	卒後研修(岡山大学病院等)	レジデント・研究生等常勤勤務(非常勤の場合の修業年限の算定は学会規定による)			

